

<http://www.japanplatform.org/we/index.html>

平成19年度グローバルに活躍できる「広島っ子」育成事業

佐伯高等学校で「世界とのふれあい講座」を実施



〔実施概要〕

日時：2007（平成19）年10月11日（木）14：40～15：30

場所：廿日市市津田（校長：下田洋夫）

<http://www.saiki-h.hiroshima-c.ed.jp/>

対象：全学年（141名）

講師：山本理夏氏、國田博史氏

（（特活）ピース ウィンズ・ジャパン【PWJ】）

〔テーマ〕

すべての人に「いのちの水」を

〔内容〕

リベリアとアフガニスタン为例に、世界では水がないために生命・生活が危機にさらされている地域があることを伝えた。日本で日常使われている水の量と、難民キャンプ等で基準とされている水の量を比較し、水の大切さを分かりやすく解説。状況を改善するためにPWJが取り組んでいる井戸掘りなどの支援活動について説明した。また、高校生でも参加できる支援の方法として、古本やCDの寄付、クリック募金などを紹介し、自分たちにできることを生徒自身が考えるきっかけづくりをした。

〔講師プロフィール〕

・山本理夏氏 ピース ウィンズ・ジャパン海外事業部チーフ

大学卒業後、米国の大学院にて国際関係学・国際政治学を学ぶ。1994年よりNGOや国連ボランティアとしてアフリカやコソボで難民支援に携わる。2000年にPWJに入り、インド西部地震、シエラレオネ帰還民支援、アフガニスタンやイラク、スマトラ、スーダン南部の緊急支援に関わる。現在は海外事業部チーフとして支援事業を統括し、現地への出張を通して状況の把握、方針の策定などを行う。

・國田博史氏 ピース ウィンズ・ジャパン国内事業部チーフ

1991年に大学を卒業し朝日新聞社に入社。政治部記者時代にNPO・NGOの連載企画を担当した。退社後、2003年にPWJに入り、国内事業部チーフとして広報・支援者対応・企業との連携・フェアトレードなどを担当。04年の新潟県中越地震、05年のパキスタン地震、07年の新潟県中越沖地震の際は現場の支援にも参加した。07年、尾道事務所の開設に伴い、同事務所に赴任。

〔所属組織の紹介〕

（特活）ピース ウィンズ・ジャパン【PWJ】は日本発祥のNGOで、日本に本部を置き1996年の設立以来、イラク北部やスマトラ島沖地震の被災地をはじめ世界16カ国・地域で水や食糧、緊急援助物資の配布などをはじめとする緊急人道支援活動を実施。2007年3月現在、イラク、アフガニスタン、モンゴル、東ティモール、リベリア、スーダンの計6カ国・地域で活動を続けています。また、開発途上国などの生産者の手による商品を適正な価格で買い取り、日本国内で販売する「フェアトレード」（公正な貿易）にも取り組んでいます。

<http://www.peace-winds.org/jp/index.html>

〔講師コメント〕

・山本理夏氏

とても興味深く話を聞いてくれていたことが印象に残っています。水の問題はきっかけにしかすぎないと思います。遠い国のことだから関係ないとは思わずに、今の自分でできることはないか、すこしづつ考えていってほしいですね。

・國田博史氏

日本では水道の蛇口をひねればいくらでも使える水も、世界の多くの地域ではとても貴重です。水の問題に限らず、世の中の出来事に関心を持ち、想像し、自分に何ができるかを考えてもらえたら嬉しいです。